

ニュージーランド準備銀行は政策金利を据え置き

- ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は8会合連続で政策金利を据え置き。RBNZは政策の中立姿勢の維持を示唆。
- 2017年10-12月期の消費者物価指数(CPI)は前年比+1.6%へ鈍化。RBNZは先行きのインフレ見通しを下方修正。
- ニュージーランド景気は2017年下半年に鈍化したものの、RBNZでは今後の緩やかな景気回復を予想。
- RBNZ新総裁に公的年金基金トップを務めるエイドリアン・オア氏が指名される。オア氏の就任は3月27日の予定。

RBNZは8会合連続で政策金利の据え置きを決定

ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は2月8日の政策決定理事会において、大方の市場予想通り、政策金利を1.75%で据え置く決定を下しました。政策金利据え置きは8会合連続となります。

スペンサー総裁代行は「相当な期間にわたって緩やかな金融政策が維持されるだろう」と述べ、中立的な金融政策を維持する姿勢を示唆しました。RBNZが示した金利見通しでは、2019年央頃の利上げ転換が示唆されています。

RBNZはインフレ見通しを小幅に下方修正

ニュージーランドの2017年10-12月期の消費者物価指数(CPI)は前年比+1.6%へ伸び率が鈍化しました(7-9月期は同+1.9%)。足元のインフレ率の下振れを受けて、RBNZでは先行きのインフレ予想を小幅に下方修正しましたが、2019年にかけてインフレ率はターゲットの中心に向けて緩やかに持ち直すと見込まれています(図1)。

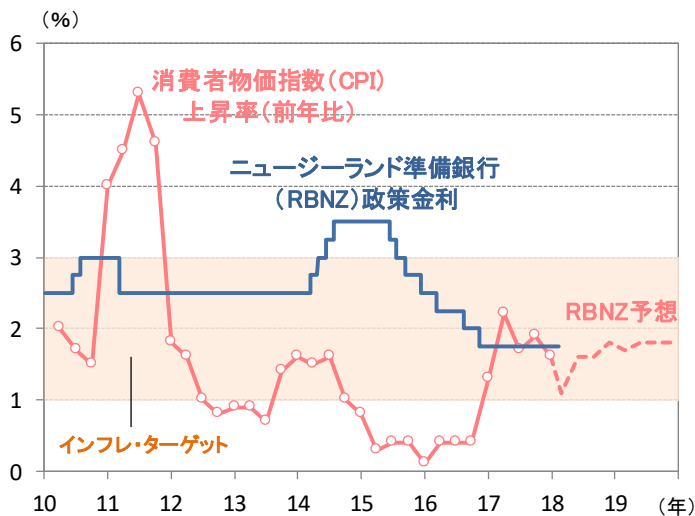
RBNZは今後のニュージーランド景気の回復を予想

一方、ニュージーランドの景気動向に関しては、実質GDP成長率は2017年下半年に鈍化したものの、RBNZは緩やかな金融政策や交易条件改善、政府支出、人口増に支えられて、今後の景気は上向くとの見方を示しました。RBNZの予想によれば、実質GDP成長率は2017年7-9月期の前年比+2.7%から、2019年には3.5%前後へ緩やかな回復が見込まれています。

RBNZ新総裁にエイドリアン・オア氏が指名される

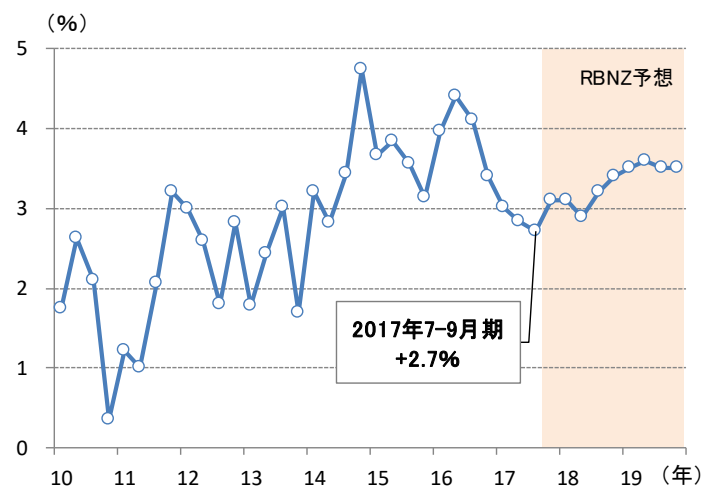
また、RBNZの新総裁にはエイドリアン・オア氏が指名されました。オア氏はニュージーランドの公的年金基金スーパーアニュエーション・ファンドのトップを務めているほか、過去にはRBNZ副総裁を務めた経歴があります。オア新総裁は5年間の任期で3月27日に就任する予定です。

図1:ニュージーランドの政策金利とインフレ率



(出所)ニュージーランド準備銀行(RBNZ)、ニュージーランド統計局
(期間)政策金利: 2010年1月5日~2018年2月8日
CPI: 2010年1-3月期~2017年10-12月期

図2:ニュージーランドの実質GDP成長率(前年比)



(出所)RBNZ、ニュージーランド統計局
(期間)2010年1-3月期~2017年7-9月期